

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2019年3月22日

事業所名：すこやかキッズランド須磨

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に必要な物は置かず、常に広いスペースを確保出来るように心がけています。	・少し狭めで、声が反響しやすいのか子ども達の声が大きく聞こえるように思う。 ・子どもの人数に対してちょうど良いスペースだと思います。	・これまで通りスペース確保出来るように整理整頓を徹底する。
	2 職員の適切な配置	活動、送迎中に状況に応じて適切な職員を配置出来るように行っている。	・職員を多く配置してくれていると思う。 ・子ども達にも目が行き届いている。	これまで通りトラブル、怪我に気をつけて職員を配置していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内には余計な物を置かず、整理整頓を行っている。	・一度見学で行った時に適切だと感じました。 ・わからないという意見が少数あり。	室内も整理整頓に注意し引き続き見渡ししやすい環境を維持していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃、消毒を行い心地よく過ごせるように清潔感ある空間を維持している。	一度見学で行った時に清潔感を感じました。	清掃や消毒を徹底し、清潔感のある空間を維持していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼時、送迎終わり等に時間をつくり、問題点や結果を話し合っている。		引き続き話し合う時間を確保し、すべての職員で取り組んでいく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施なし		現時点では外部評価を行っていないので、前向きに検討します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時研修、年に1回の虐待防止研修を行っている。		引き続き定期的な研修を行う。 外部の研修への参加も積極的に参加する
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者に事前にモニタリングし、適切な計画書作成に努めている。		保護者にモニタリングし、相談内容や日頃の活動を参考にして作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの様子を確認して、個々に応じた計画書作成に努める。	・子どもをしっかり見て考えてくれている。 ・計画の作成、支援内容の記載は出来ていると思います。	子どもの状態はそれぞれ違うので個々の活動だけでなく集団活動の内容も確認し作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもによって状態は異なるので、個々の内容に応じて具体的な支援内容を記載するように努めている。		職員と話し合い子どもの状態を確認し支援内容を考えていく。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員全員が計画の内容を把握し計画に沿って適切に実施するよう努めている。	・出来ていると思います。 ・支援の実施に関してはわからないという意見が少数ありました。	計画書作成時だけでなく、定期的に個々の課題や注意点について確認を行い、計画に沿った支援を継続する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	プログラムが単一化しないようにすべての職員がアイデアを出し合っている。		職員同士の話し合いの時間をつくり、案を出し合う。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	学校によって終わり時間が異なったり、代休があったりするので対応している。	・工夫して頂けてると思います。 ・いろいろな遊びに興味を持って楽しく遊んでいます。	引き続き、ニーズに沿った支援を心がける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	行事や季節に合った制作を行う事で固定化しないように工夫している。		職員同士の話し合いの時間をつくり、案を出し合う。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝の朝礼で支援内容や役割分担の確認を行っている。		その日の子どもの状態、気を付ける事を朝礼で伝達する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後に気づいた点はその日のうちに報告し、翌日の朝礼やノートに記載し情報の共有を行っている。		・話し合いの時間をつくる。 ・気づいた事をノートに書いてもらう。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	各記録は確実にいき、支援の内容、改善する点には話し合いの機会を持っている。		各記録に不備がないよう日々のチェックと月末のチェックを実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回モニタリング実施し、計画書の見直しを行っている。		今後も半年に1回以上モニタリングを実施し、計画書を見直す。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	セルフプランの利用者が全員の為、担当者会議が開催されたことがない。	担当者が開催される利用者がいた場合には、児童発達管理責任者が参加できるように調整する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	支援は行っていないが、支援を行う事になったら連携した支援を行っていく。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	支援は行っていないが、支援を行う事になったら連絡体制の整備を整える。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	自発的な情報提供は行っていないが、保護者、移行後の施設からの依頼があれば、その都度情報を提供している。	利用時の資料はしっかりと保管し必要に応じて情報提供できるようにしておく。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	該当なし	該当なし
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	今後多くのスタッフが研修に参加できるように調整していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	幼稚園等との交流する機会は持ててない。	個別で幼稚園に通う事は出来るが、それ以外でも交流があればいいと思う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の方々を招待する行事は実施していない。	わからないやどちらともいえないという意見が大半でした。	機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に書面、口頭で行っている。	丁寧に説明してくれたという意見が大半でした。	これからも漏れが無いように丁寧に説明し、不明点があれば随時説明していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を保護者に提示し、説明を行っている。	丁寧に説明してくれたという意見が大半でした。	これからも漏れが無いように丁寧に説明し、不明点があれば随時説明していく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムとしては実施していない。都度、電話や面談での相談を実施している。	・家族支援プログラム等の説明があればよかった。 ・ペアレントトレーニング受けたい。	保護者へのアドバイス等は今後も都度行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に日々の状況を伝え、保護者からも家庭での様子を伺っている。	共通理解出来ているという意見が大半でした。	今後も保護者との情報交換・共有が適切に行えるように改善点があれば検討改善に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡帳や送迎時に、保護者から話を伺う事が多い。必要時は電話や面談にて助言を行っている。	・定期的に面談を行って頂けるとありがたいです。 ・定期的ではないが、こちらから依頼すれば対応してくれる。	今後も都度保護者からの相談には対応し適切な助言を行えるように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母会等は実施していない。	・保護者同士の交流がない為、情報の交換や子ども同士が友達でも親がわからないので、退所した後の交流が出来ない ・父母会や保護者会がないので、半年に1度あれば、保護者同士の連携も取れると思う。	現在父母会等の実施の予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情の該当はないが、苦情に対する体制は定めている。	・事業所へ苦情があったのか分からないが苦情があった場合は適切な対応を行っていると思う。 ・苦情はありません。	引き続き苦情があった場合は、迅速丁寧に対応できる体制を整えておく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々の変化を連絡帳や送迎時に伝えている。	子どもをしっかり見ているので配慮してくれている。	引き続きわかりやすい情報伝達のに努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報等の発行は出来ていないが、活動概要や行事の予定等は連絡帳、送迎時に口頭で伝えている。	会報やホームページではないが、活動概要、行事内容は事前に職員から説明があり活動後は写真等で行事の様子を知る事が出来る。	今後も十分な情報発信に努め、改善点があれば検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	取り扱いには保護者に同意を得たうえで正しい。 個人情報を記載した書類は鍵付き倉庫で保管している。	十分な対応が出来ていると意見が多かった。	今後も契約時の説明をしっかりと行い、保管や共有の際の取り扱いには細心の注意を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定を行い職員への周知は行っているが保護者への通達は一部行えていない。	出来ている意見があったがどちらかわからないという意見もあった。	マニュアルの定期的な更新を行い、保護者への周知を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	1年に2回災害発生を想定した訓練を実施している。	・事業所で避難訓練を行ったと送迎時に説明があった。 ・わからないという意見もあった。	今後も計画通りの訓練の実施を行い。当日参加していない児童の保護者へも訓練実施の報告を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時、年に1回研修を行っている。 月一回のチェックリストを全職員実施している。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施した事例はないが、子ども自身に危険がある事例については、その事業所だけでなく会社全体での会議で決定しており、全職員に周知している。また、保護者にも十分に説明し、理解いただいた上で、支援計画書へ記載している。		引き続き全体での会議で慎重に決定していく、全職員が周知できる体制を継続していく。計画書の記載、保護者への説明も徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書に基づき、アレルギーが入った食べ物は購入していない。		保護者、医療機関等との情報収集や連携を更に推進していき安全な対応を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	日々の業務で気付いた事などヒヤリハットの書式に記載し、職員間で周知徹底に努めている。		引き続き、書面でのヒヤリハットの作成と職員が共有するよう、話し合い等を行っていく。